



# 2012年3月期 第2四半期決算説明会



八千代工業株式会社

2011.11.4

# 本日のご説明内容

## 1. 第2四半期決算説明

経理部長

北村 哲也

## 2. 第2四半期決算説明会 ごあいさつ

代表取締役社長

加藤 正彰

# 1. 第2四半期決算説明

2012年3月期 第2四半期連結決算

2012年3月期連結業績見通し

経理部長

北村 哲也

# 2012年3月期 第2四半期連結決算



# 第2四半期(3ヶ月間)連結業績

11/07~11/09 (国内) 11/04~11/06 (海外)	2010年2Q (実績)	2011年2Q (実績)	前年同期比 (増減率)
売上高	780億円	638億円	-142億円 (-18.2%)
自動車組立分野	349億円	304億円	-45億円 (-12.8%)
自動車部品分野	431億円	334億円	-97億円 (-22.6%)
営業利益 (対売上高比率)	11.8億円 (1.5%)	0.9億円 (0.1%)	-10.9億円 (-92.3%)
経常利益 (対売上高比率)	9.8億円 (1.3%)	-0.9億円 (-0.1%)	-10.7億円 (-%)
四半期純利益 (対売上高比率)	6.8億円 (0.9%)	-8.8億円 (-1.4%)	-15.6億円 (-%)
為替レート USドル	86円	78円	8円 円高

# 第2四半期(6ヶ月間)連結業績

YACHIYO



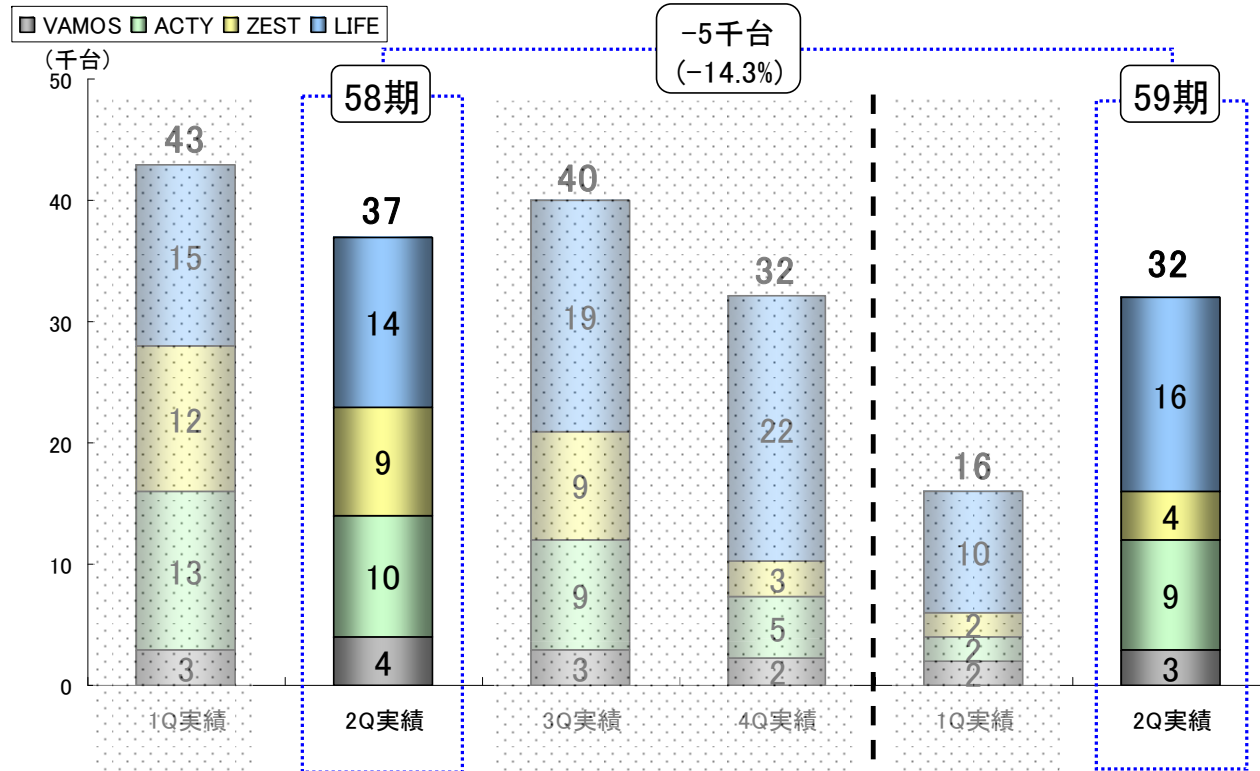
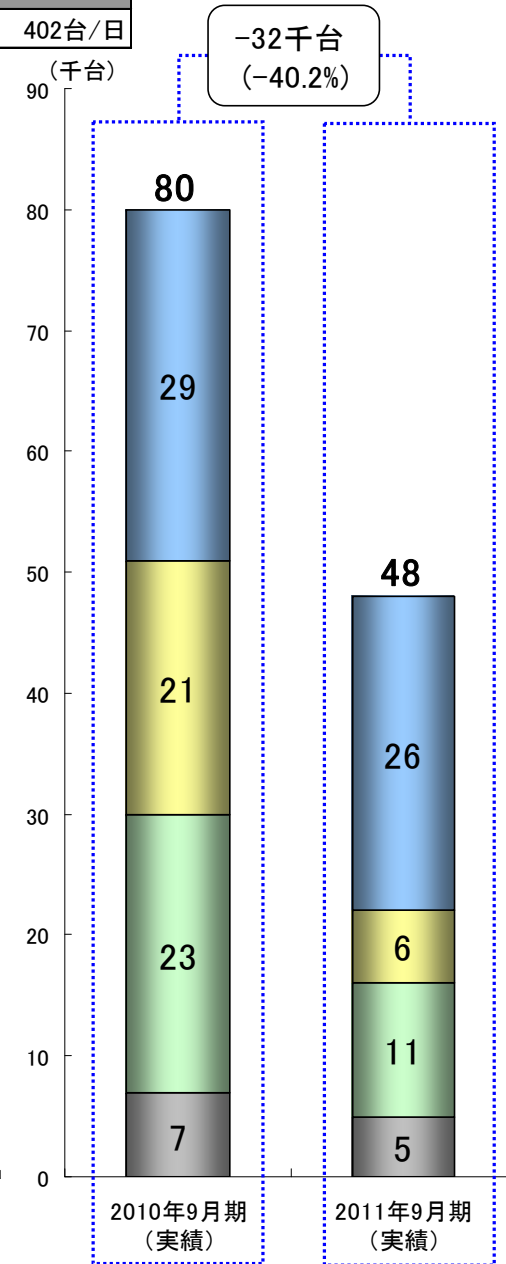
11/04~11/09 (国内) 11/01~11/06 (海外)	2010年9月期 (実績)	2011年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)	6/17公表 期初計画からの増減額
売上高	1,575億円	1,155億円	-420億円 (-26.6%)	+55億円 (+5.0%)
自動車組立分野	740億円	473億円	-267億円 (-36.0%)	+9億円 (+2.1%)
自動車部品分野	835億円	682億円	-153億円 (-18.3%)	+46億円 (+7.1%)
営業利益 (対売上高比率)	32.4億円 (2.1%)	5.0億円 (0.4%)	-27.4億円 (-84.4%)	+13.0億円 (-%)
経常利益 (対売上高比率)	28.9億円 (1.8%)	5.3億円 (0.5%)	-23.6億円 (-81.6%)	+13.3億円 (-%)
四半期純利益 (対売上高比率)	15.0億円 (1.0%)	-13.4億円 (-1.2%)	-28.4億円 (-%)	+11.6億円 (+46.4%)
為替レート USDドル	89円	80円	9円 円高	

# 第2四半期(6ヶ月間) 自動車組立分野概況



	2011年9月期 (実績)	2011年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	80千台	48千台	-32千台 (-40.2%)
LIFE	29千台	26千台	-3千台 (-11.7%)
ZEST	21千台	6千台	-15千台 (-69.8%)
ACTY	23千台	11千台	-12千台 (-51.0%)
VAMOS	7千台	5千台	-2千台 (-32.5%)
売上高	740億円	473億円	-267億円 (-36.0%)

	2011年9月期 (実績)	2011年9月期 (実績)
日産台数	677台/日	402台/日



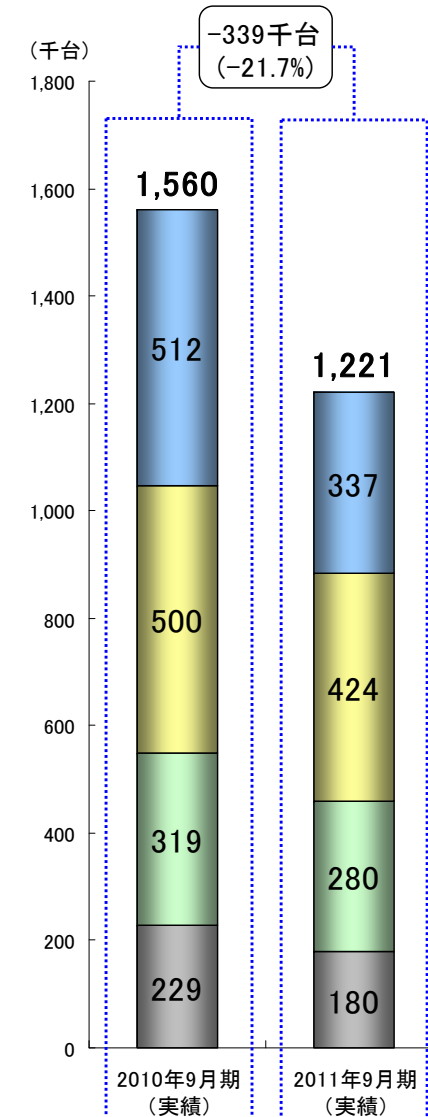
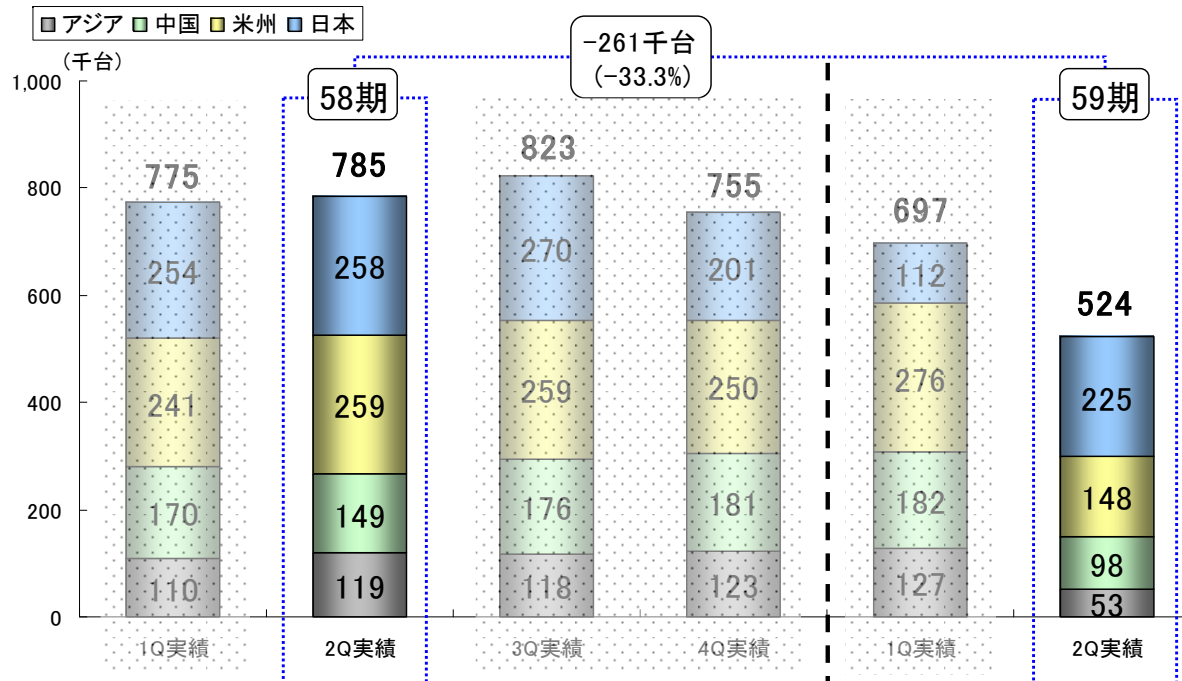
# 第2四半期(6ヶ月間) 自動車部品分野概況



## タンク

	2010年9月期 (実績)	2011年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	1,560千台	1,221千台	-339千台 (-21.7%)
日本	512千台	337千台	-175千台 (-34.2%)
米州	500千台	424千台	-76千台 (-15.2%)
中国	319千台	280千台	-39千台 (-12.4%)
アジア	229千台	180千台	-49千台 (-21.1%)
売上高	204億円	153億円	-51億円 (-25.0%)
内、為替影響	-	-8億円	-43億円 (-21.1%)

← 実質的な売上減





# 第2四半期(6ヶ月間) 自動車部品分野概況

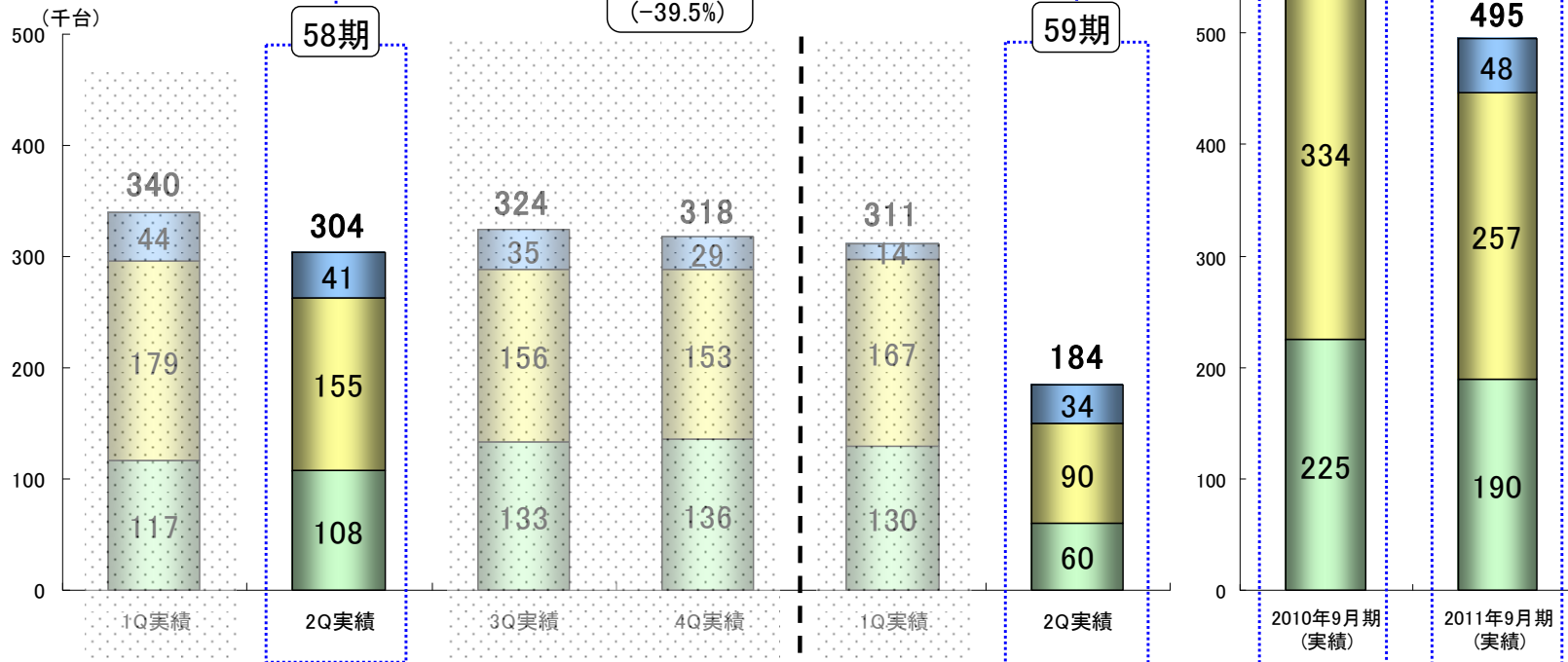


## サンルーフ

	2010年9月期 (実績)	2011年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	644千台	495千台	-149千台 (-23.1%)
日本	85千台	48千台	-37千台 (-44.6%)
米州	334千台	257千台	-77千台 (-22.7%)
中国	225千台	190千台	-35千台 (-15.4%)
売上高	122億円	88億円	-34億円 (-27.9%)
内、為替影響	-	-8億円	-26億円 (-22.5%)

← 実質的な売上減

■ 中国 ■ 米州 ■ 日本

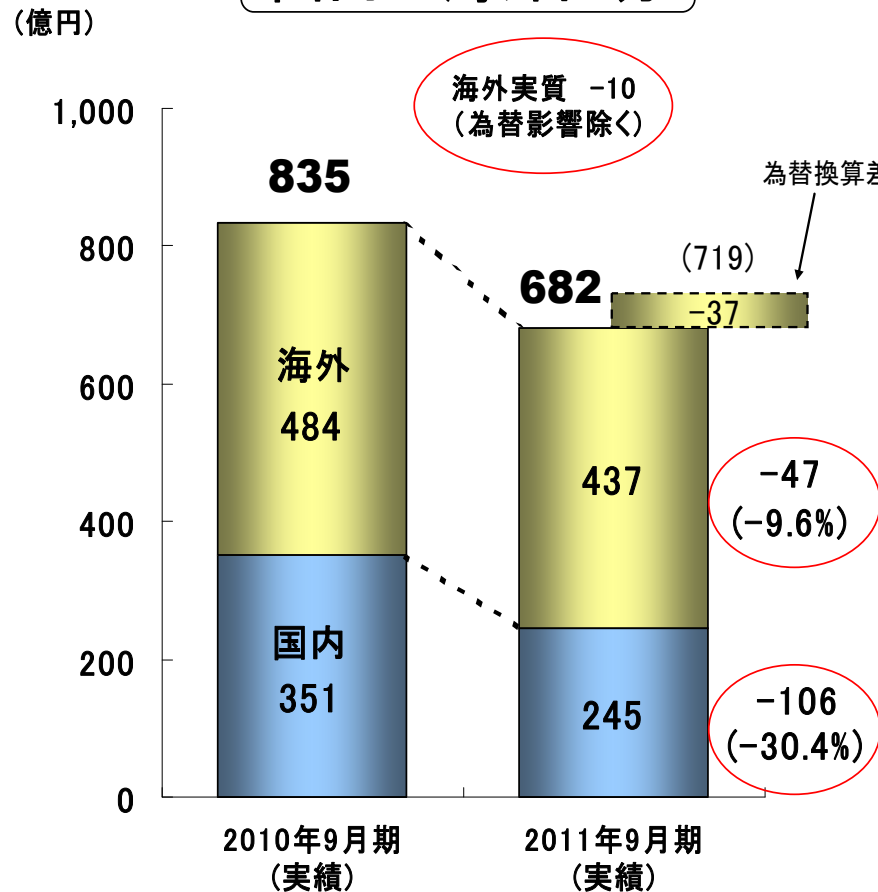


# 第2四半期(6ヶ月間) 自動車部品分野概況

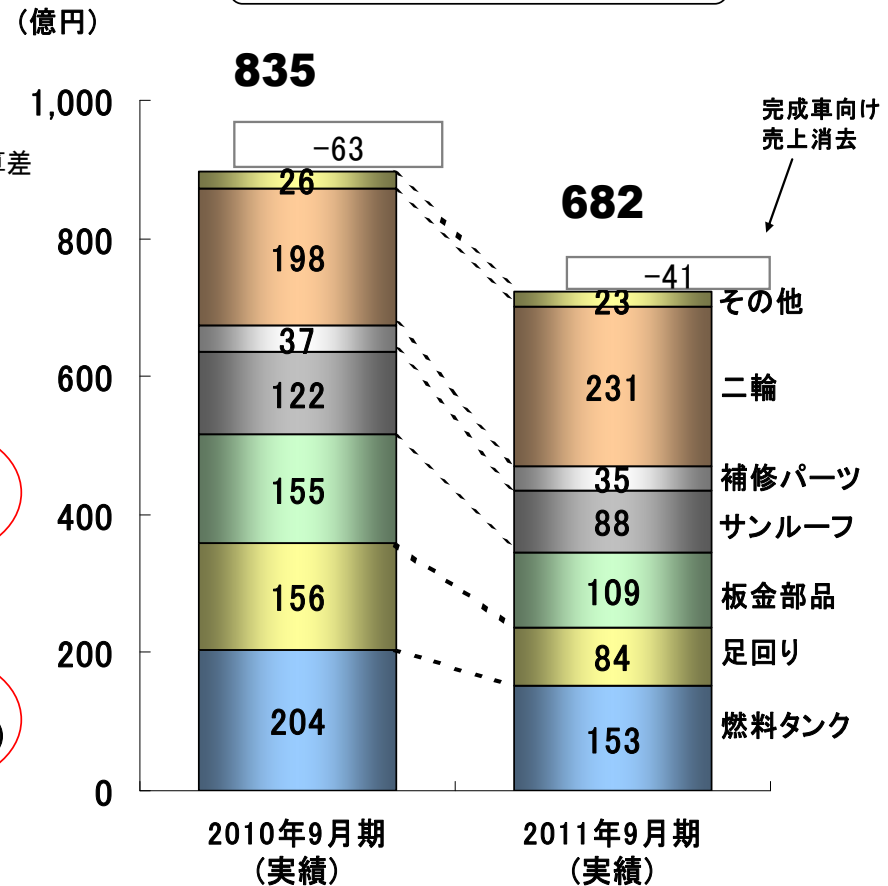


	2010年9月期 (実績)	2011年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
売上高	835億円	682億円	-153億円 (-18.3%)

## 国内／海外区分



## 部品別区分

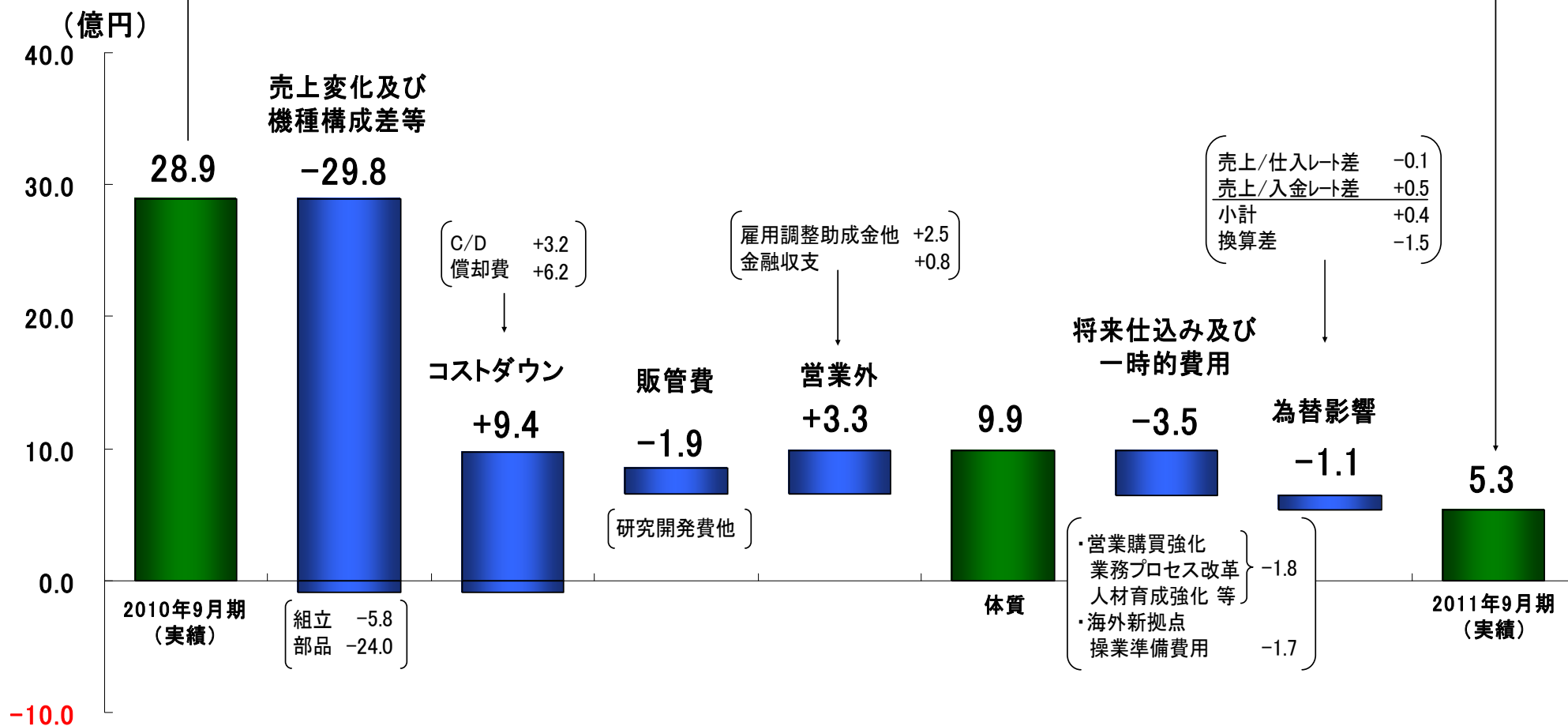


# 第2四半期(6ヶ月間) 連結経常利益増減要因



売上高	1,575	増減	-383	体質	1,192	為替換算影響	-37	1,155	-420
(自動車組立分野 自動車部品分野)	(740 835)	(-267 -116)		(473 719)		(473 682)			

経常利益-23.6(-81.6%)



# 第2四半期(6ヶ月間) 所在地別セグメント情報



## 【日本】

売上高	-373
・完成車売上減	-267
・部品売上減	-106
経常利益	-5.8
・売上変化及び機種構成差他	-5.4
・営業、購買強化他	-1.8
・雇用調整助成金	+2.0

## 【米州】

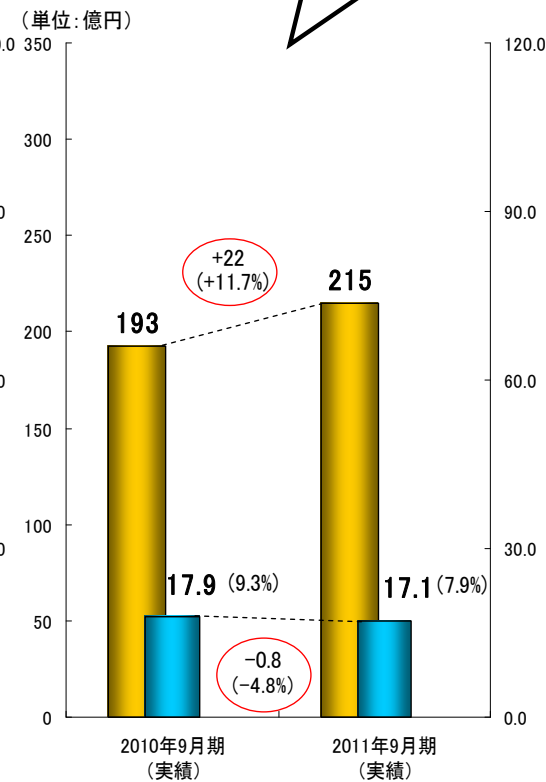
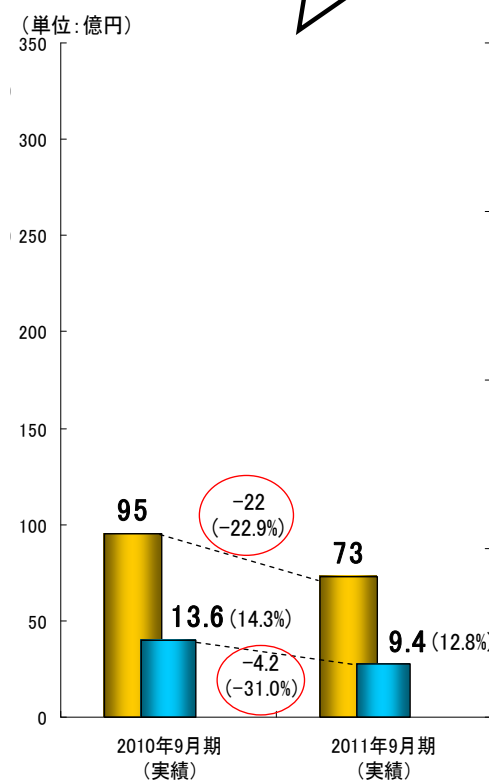
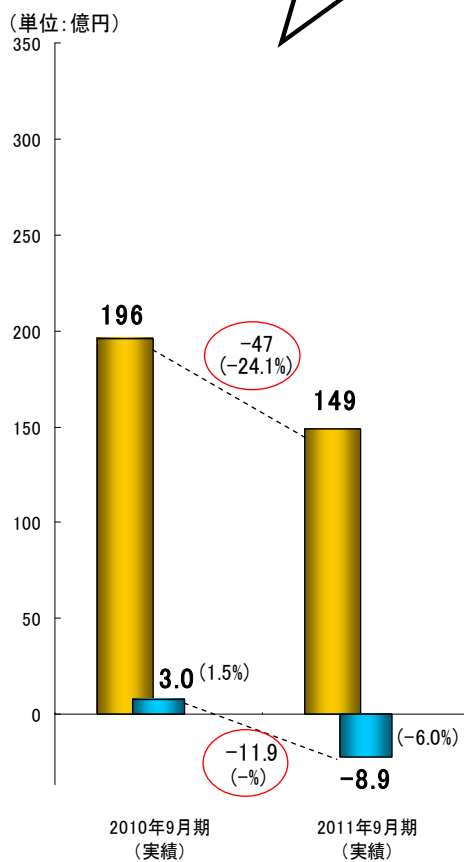
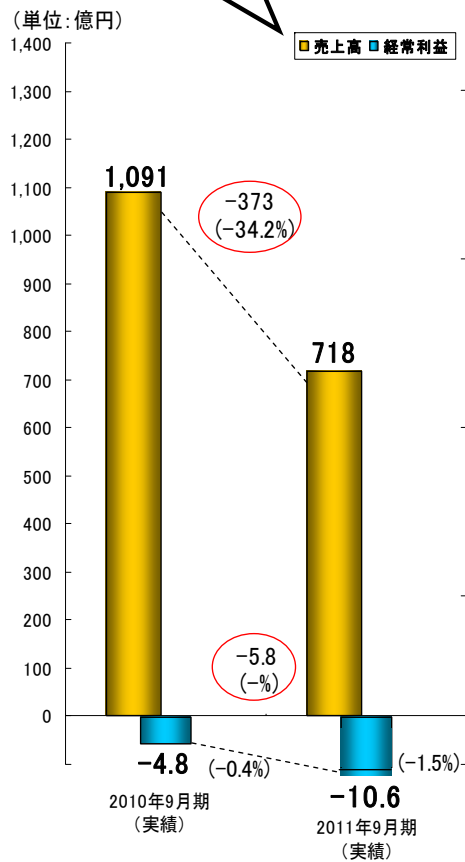
売上高	-47
・タンク、S/R売上減	-33
・為替影響	-14
経常利益	-11.9
・売上変化及び機種構成差	-7.0
・生産体質、立上り費用他	-4.0
・為替影響	+0.6

## 【中国】

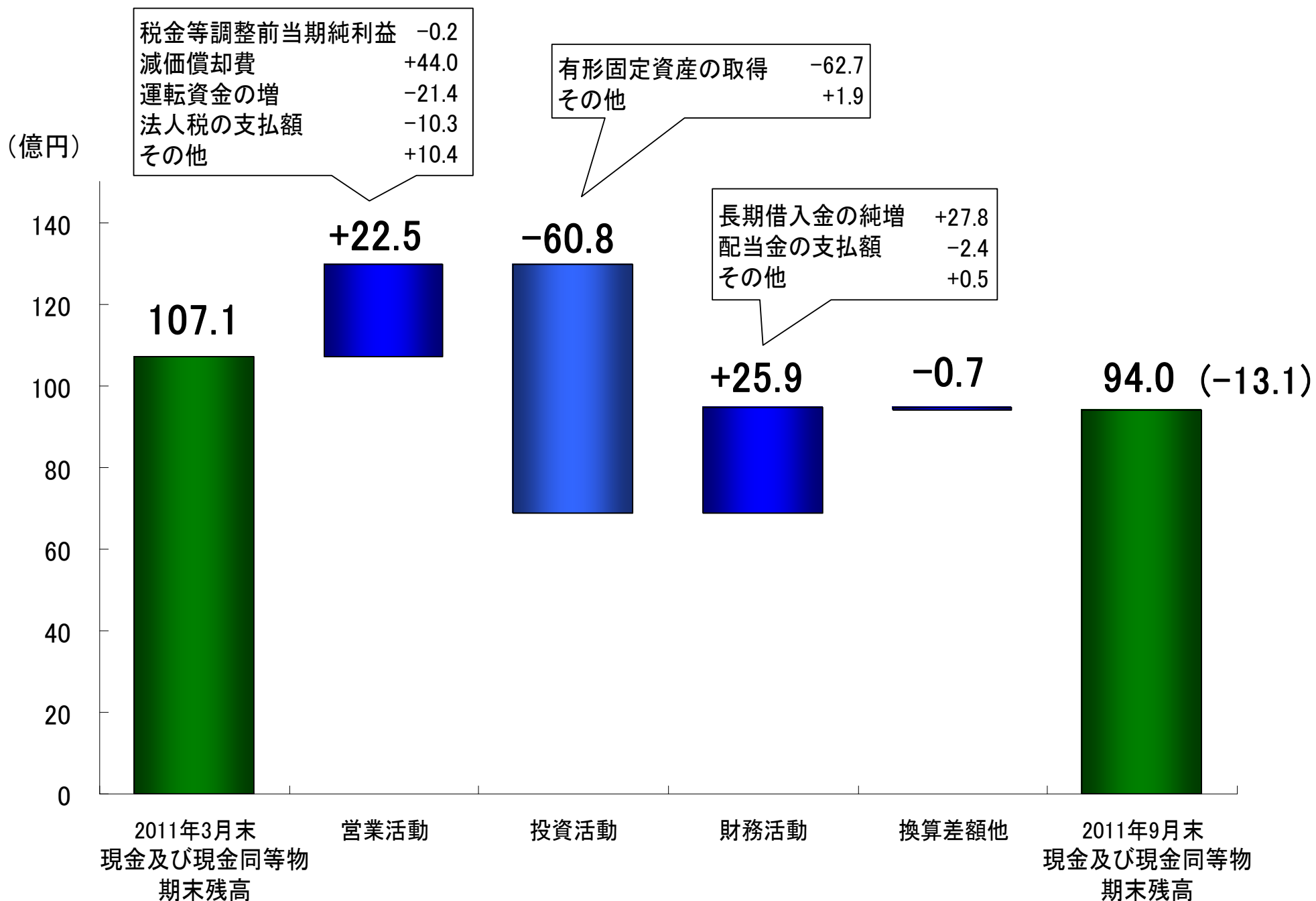
売上高	-22
・全拠点売上減	-17
・為替影響	-5
経常利益	-4.2
・売上変化及び機種構成差	-2.3
・為替影響	-0.3
・販管費	-1.6

## 【アジア】

売上高	+22
・二輪部品売上増他	+40
・為替影響	-18
経常利益	-0.8
・売上変化及び機種構成差	+2.1
・為替影響	-1.3
・販管費	-1.4



# 第2四半期 連結キャッシュ・フロー



# 第2四半期 連結貸借対照表



	2011年3月	2011年9月	増減	コメント
総資産	1,136億円	1,185億円	+49億円	現金及び預金の減 -12億円 受取手形及び売掛金の増 +51億円 たな卸資産の増 +10億円 為替換算 -3億円
負債	769億円	827億円	+58億円	支払手形及び買掛金の増 +35億円 有利子負債の増 +28億円 為替換算 -3億円
株主資本	393億円	377億円	-16億円	四半期純損失 -13億円 配当金 -2億円
評価・換算差額等	-69億円	-69億円	+0億円	為替換算調整勘定の増 +0億円
少数株主持分	43億円	50億円	+7億円	—————
純資産合計	367億円	358億円	-9億円	—————
負債純資産合計	1,136億円	1,185億円	+49億円	—————
有利子負債残高	370億円	396億円	+26億円	日本 +27億円 米州 -2億円 アジア +2億円 為替換算 -1億円 } +27億円
自己資本比率	28.6%	26.0%	-2.6P	—————
有利子負債依存度	32.5%	33.4%	+0.9P	—————
1株当り純資産	1,351円	1,284円	-67円	—————

# 2012年3月期連結業績見通し



	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)	6/17公表 期初計画からの増減額	
売上高	3,044億円	2,700億円	-344億円 (-11.3%)	+200億円 (+8.0%)	
自動車組立分野	1,415億円	1,100億円	-315億円 (-22.3%)	+100億円 (+10.0%)	
自動車部品分野	1,629億円	1,600億円	-29億円 (-1.8%)	+100億円 (+6.7%)	
営業利益 (対売上高比率)	60.7億円 (2.0%)	36.0億円 (1.3%)	-24.7億円 (-40.7%)	+9.0億円 (+33.3%)	
経常利益 (対売上高比率)	56.7億円 (1.9%)	35.0億円 (1.3%)	-21.7億円 (-38.2%)	+10.0億円 (+40.0%)	
当期純利益 (対売上高比率)	14.3億円 (0.5%)	-4.0億円 (-0.1%)	-18.3億円 (-%)	+6.0億円 (+60.0%)	
震災影響除く当期純利益 (対売上高比率)	23.5億円 (0.8%)	0.1億円 (0.0%)	-23.4億円 (-%)	+6.0億円 (-%)	
為替レート USDドル	上期 89円 下期 83円	通期 86円	上期 80円 下期 75円	通期 77円	9円 円高

連結業績見通しには、タイで発生した洪水による業績等への影響は反映しておりません。



	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 (予定)		前年度比 (増減)
			期初	今回	
中間配当金	9円	10円	(10円)	10円	—
期末配当金	9円	10円	(10円)	(10円)	—
年間配当金	18円	20円	(20円)	(20円)	—
連結配当性向	—	33.6%	—	—	—

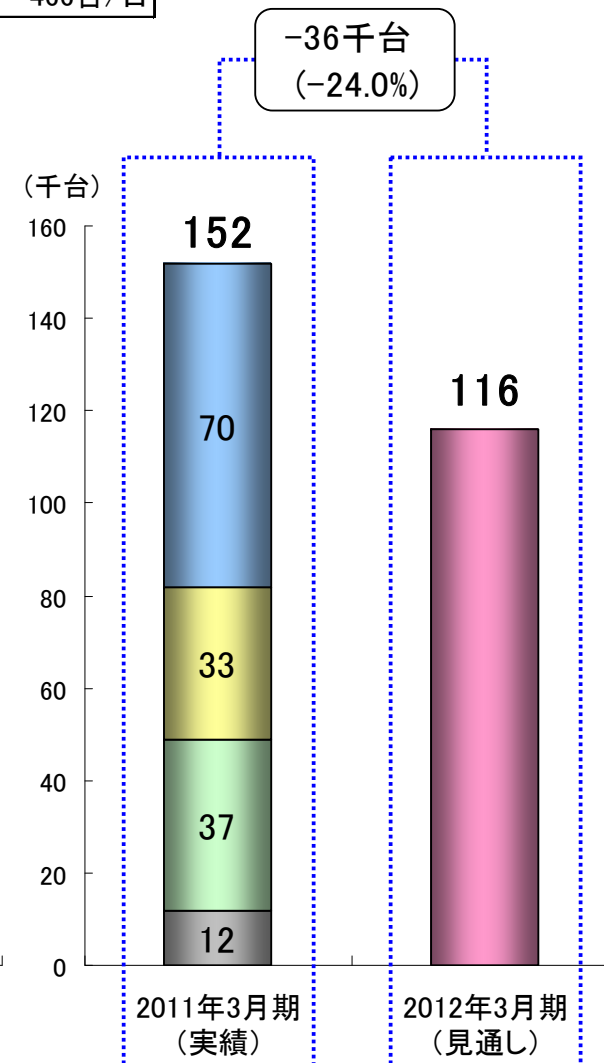
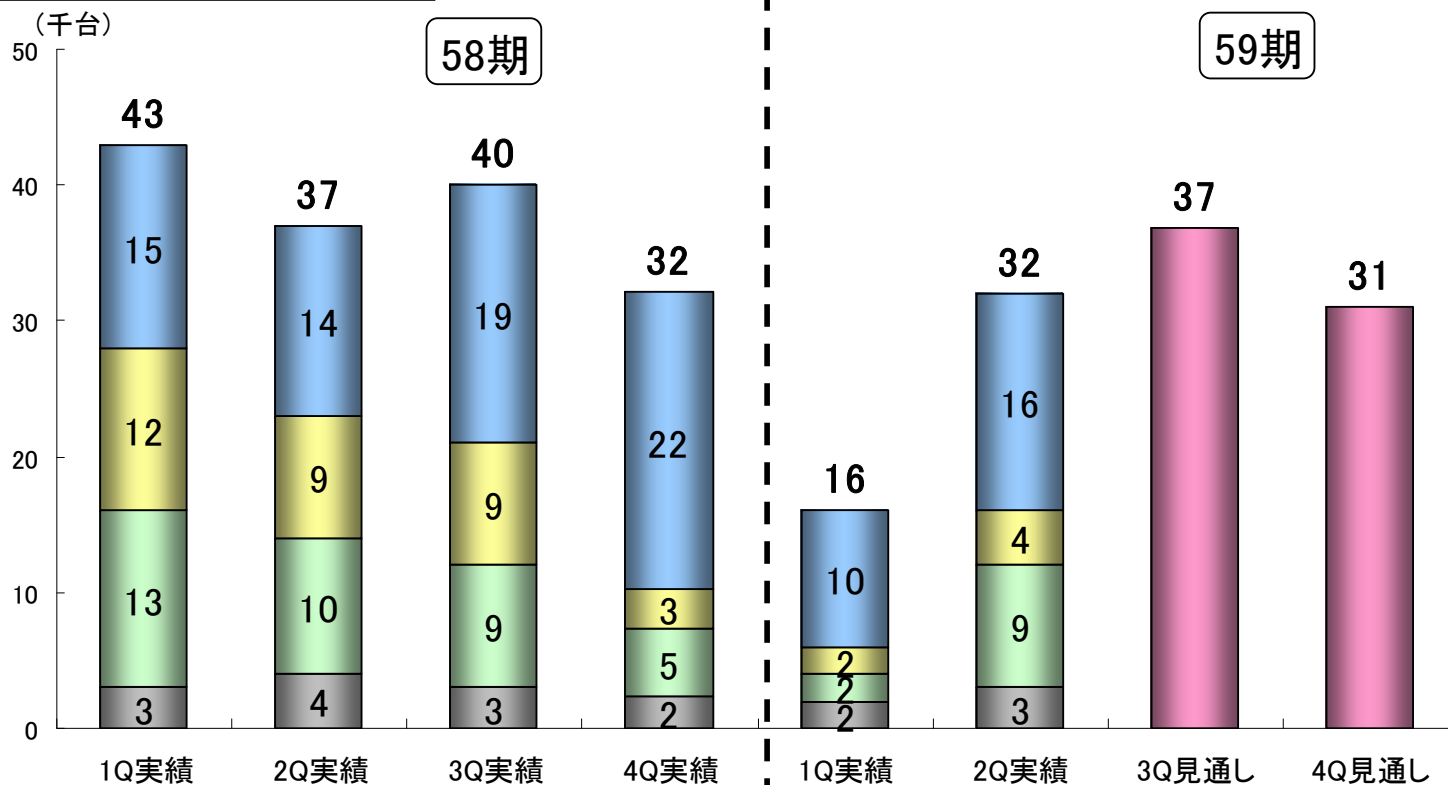
# 売上台数&売上高 見通し



	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	152千台	116千台	-36千台 (-24.0%)
売上高	1,415億円	1,100億円	-315億円 (-22.3%)

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)
日産台数	626台/日	466台/日

■ VAMOS ■ ACTY ■ ZEST ■ LIFE



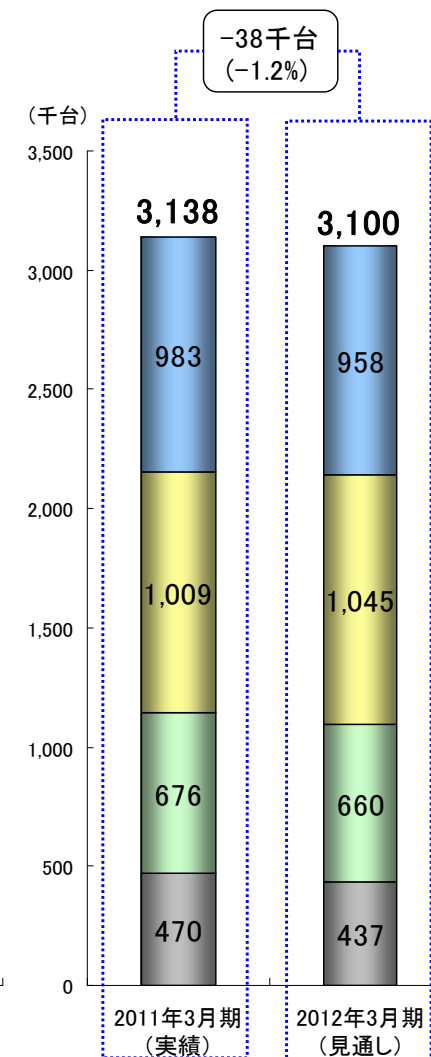
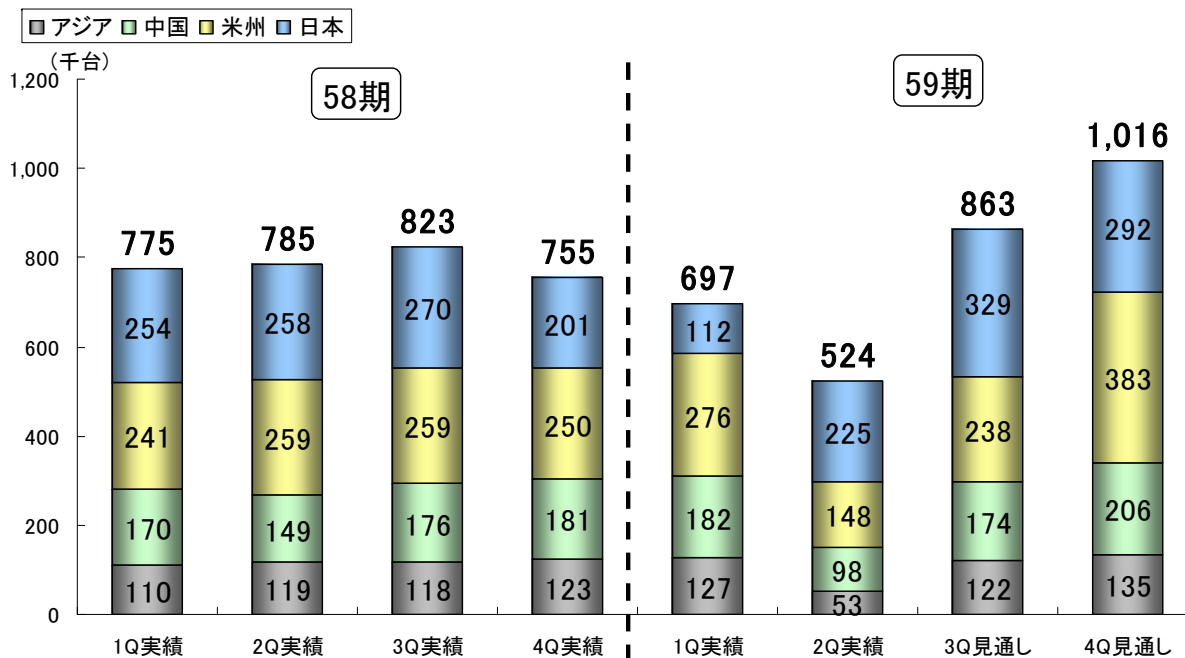
# 自動車部品分野 売上台数&売上高 見通し



## タンク

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	3,138千台	3,100千台	-38千台 (-1.2%)
日本	983千台	958千台	-25千台 (-2.5%)
米州	1,009千台	1,045千台	+36千台 (+3.5%)
中国	676千台	660千台	-16千台 (-2.4%)
アジア	470千台	437千台	-33千台 (-6.9%)
売上高	404億円	379億円	-25億円 (-6.2%)
内、為替影響	-	-19億円	-6億円 (-1.5%)

← 実質的な売上減



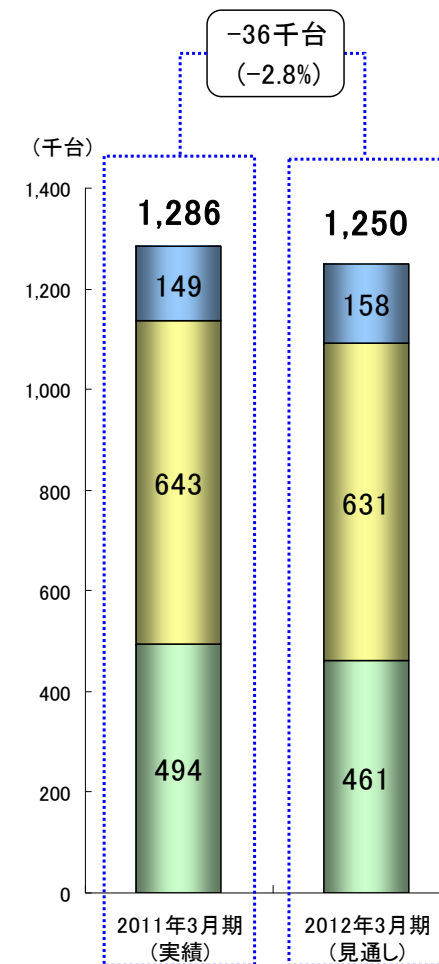
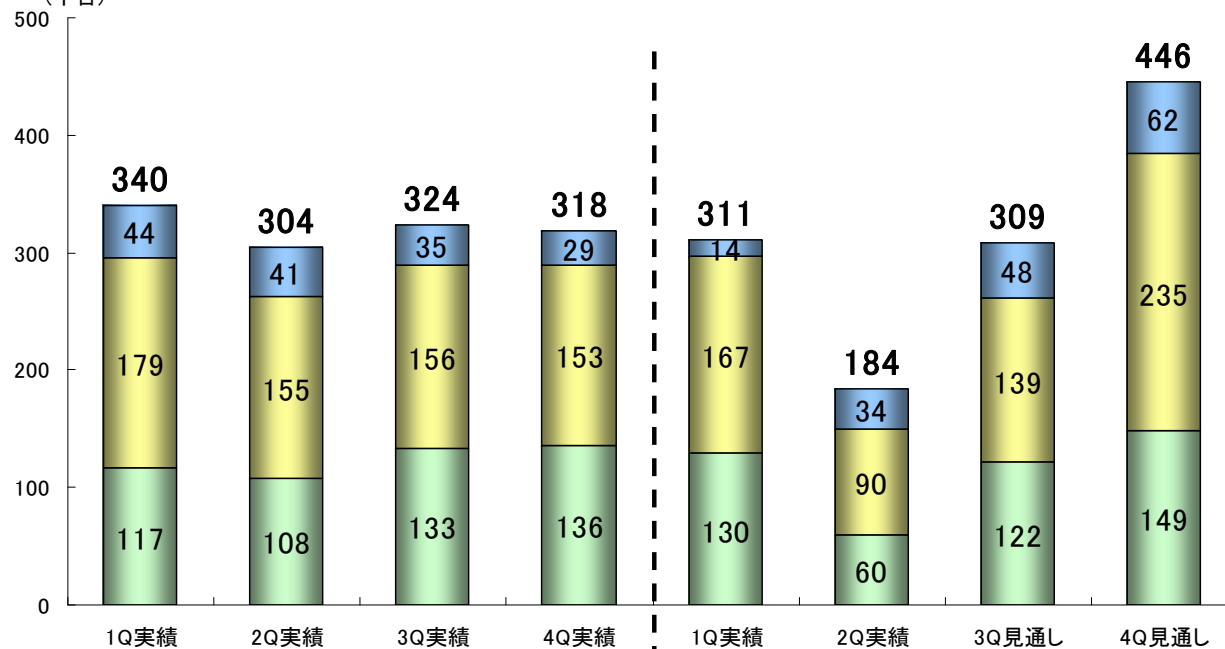


## サンプルーフ

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	1,286千台	1,250千台	-36千台 (-2.8%)
日本	149千台	158千台	+9千台 (+6.0%)
米州	643千台	631千台	-12千台 (-1.9%)
中国	494千台	461千台	-33千台 (-6.7%)
売上高	244億円	213億円	-31億円 (-12.7%)
内、為替影響	-	-15億円	-16億円 (-6.6%) ← 実質的な売上減

■中国 ■米州 ■日本

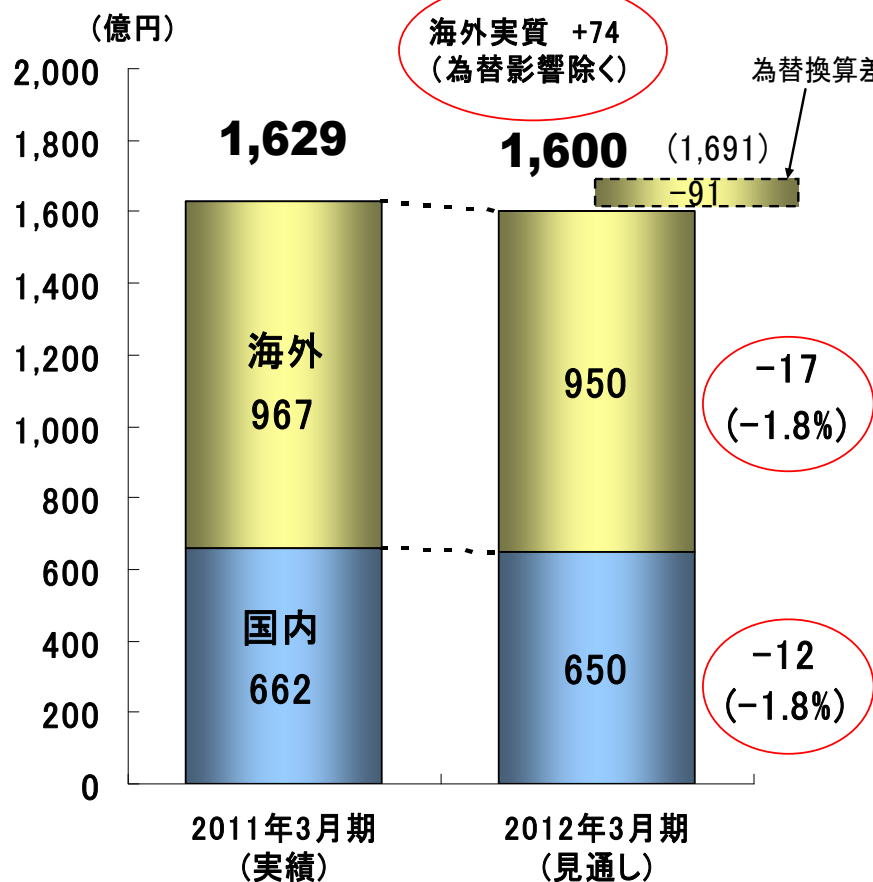
(千台)



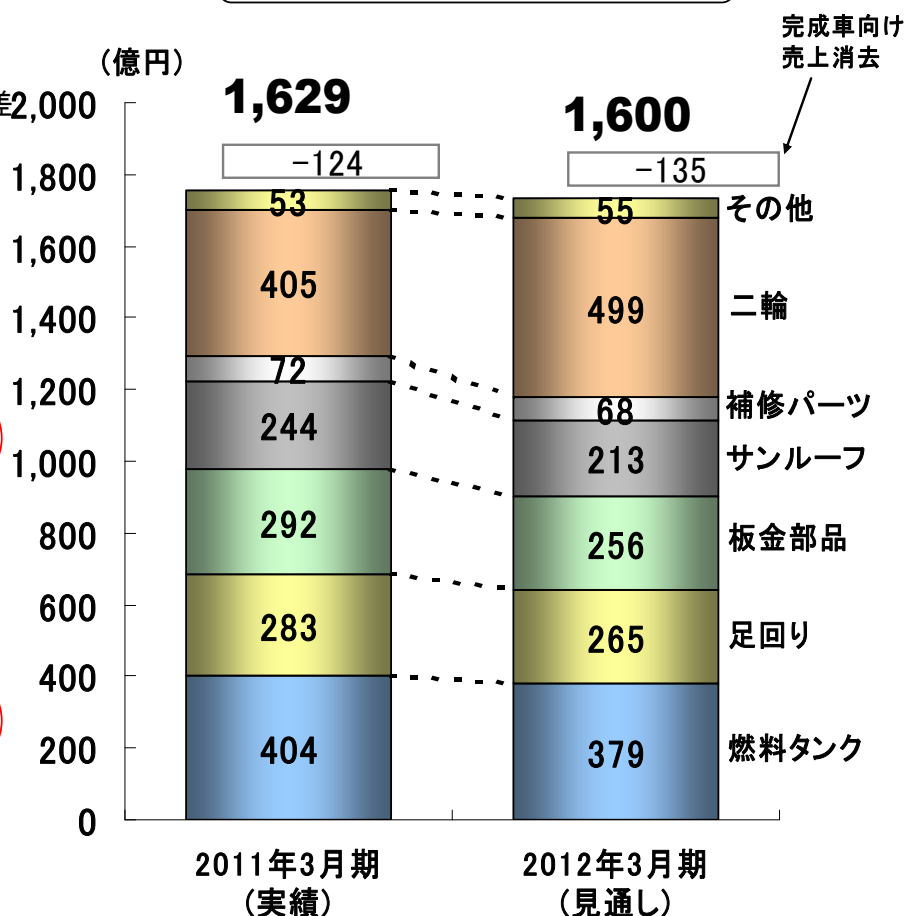


	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)
売上高	1,629億円	1,600億円	-29億円 (-1.8%)

## 国内／海外区分



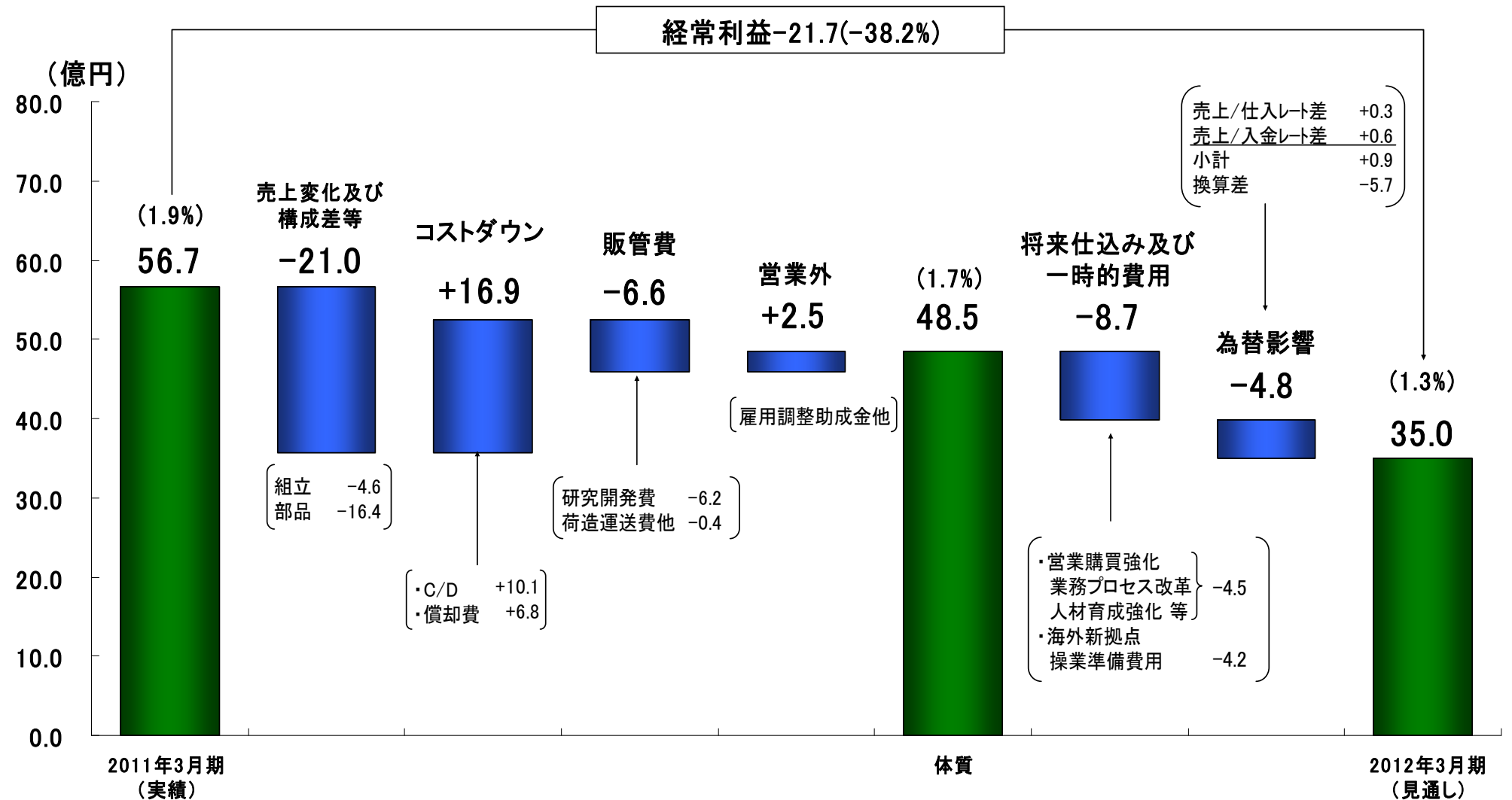
## 部品別区分



# 連結経常利益増減要因 前年度比

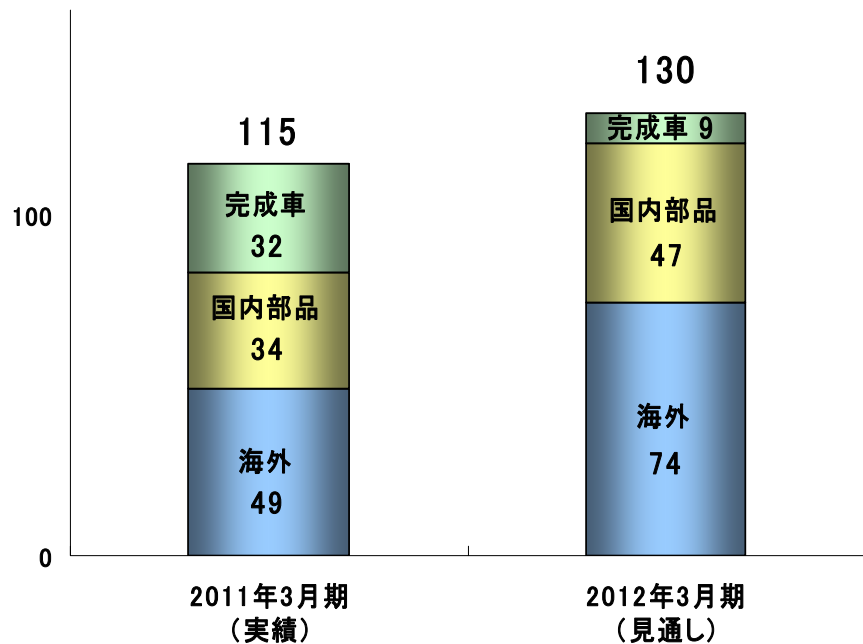
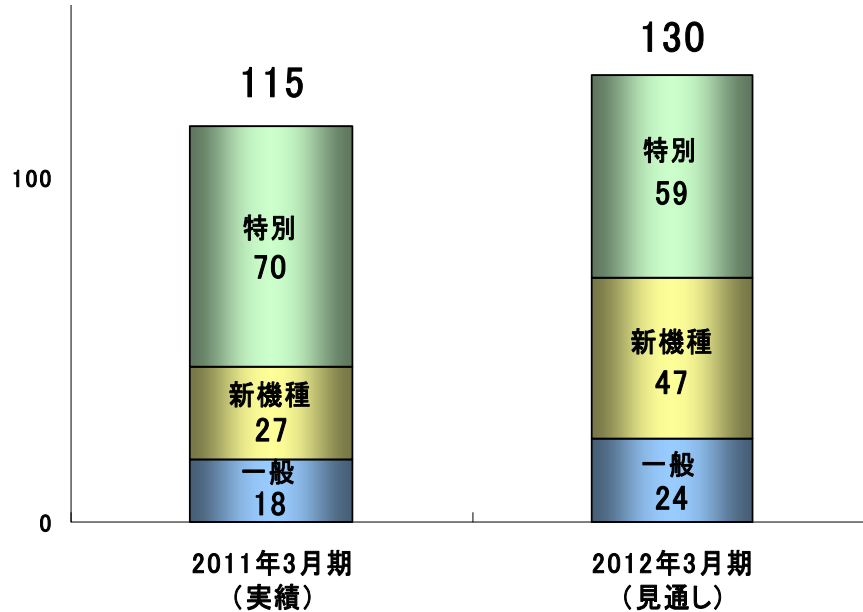


売上高	3,044	増減	-253	体質	2,791	為替換算影響	-91	2,700	-344
自動車組立分野 自動車部品分野	1,415 1,629		-315 +62		1,100 1,691			1,100 1,600	





(単位:億円)



## 【 2012年3月期の主な内容 】

	一般	特別
<b>－ 新拠点 －</b> ・ブラジル新拠点/設備 ・インド新拠点/設備		(18) 4 14
<b>－ 体改・能拡 －</b> ・完成車 ・国内部品 ・中国(中山)建屋増築(増量対応) ・中国(武漢)建屋増築(増量対応) ・海外		(41) 1 7 5 4 22
<b>－ 新機種 － [金型・治具含む]</b> ・国内(完成車/部品) ・海外現法	(47) 34 13	
<b>－ 合理化・更新等 －</b> ・国内(完成車/部品) ・海外現法	(24) 12 12	

**[ 合計 ] 130 億円**

**71**

**59**

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。

上記の不確定性及び変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

- ・主要市場における経済情勢及び需要の変動
- ・為替相場の変動
- ・主要市場における貿易規制等の各種規制
- ・主要市場における政治情勢
- ・当社が事業活動を行う上生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害

なお、タイで発生した洪水による当社連結子会社への浸水被害及び人的被害は現在のところありませんが、主要顧客の生産の回復状況が不確定であり、業績等への影響につきましては、現在予想することが困難であるため、業績予想には反映しておりません。

今後、業績の予想が可能となり修正の必要が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。